

桑名警察署協議会議事録

令和4年度第2回桑名警察署協議会	
日 時 場 所	令和4年9月26日（月）午後 2時～午後 3時45分 桑名警察署3階会議室
出席者	<p>1 公安委員会委員 1名 長江正委員長</p> <p>2 警察署協議会委員 9名 石川昭人委員、井上隆昌委員、谷妙子委員、中嶋明子委員、坂久美子委員、福田静江委員、水谷百花委員、安澤正幸委員、横井善彦委員</p> <p>3 警察署 12名 署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 公安委員会委員長挨拶</p> <p>2 管内の治安情勢</p> <p>3 交通規制について</p> <p>4 交通安全危険予測シミュレーター等の体験</p> <p>5 協議内容</p> <p>(1) 管内の犯罪情勢について</p> <p style="margin-left: 20px;">＜委員＞ 侵入窃盗、乗り物盗の発生は特定の地域が多いのか。発生地域の自治会等への呼び掛けはしているのか。</p> <p style="margin-left: 20px;">【署長】 本年8月末現在、空き巣や忍込みは主要道路から少し入った住宅街で発生しており、閉店した店舗や病院等を狙った犯罪は管内全域で発生している。</p> <p style="margin-left: 20px;">手口は、ガラスを破壊、無施錠場所からの侵入が多く、一晩で連続発生することもある。</p> <p style="margin-left: 20px;">乗り物盗のうち、自動車は住宅の駐車場から盗まれている。また、オートバイや自転車は駅や商業施設の駐輪場から無施錠のものが多く盗まれている。</p> <p style="margin-left: 20px;">警察では、発生地域に限らず、犯罪の発生状況や防犯対策を記した広報紙を各自治会ごとに配布しているほか、広報「きそぎき」や桑名新聞、地域情報紙、ケーブルテレビなど、あらゆる広報媒体を活用して防犯対策を呼び掛けている。</p> <p>(2) 人身安全関連事案に対する取組について</p> <p style="margin-left: 20px;">＜委員＞ 児童虐待や高齢者虐待について、警察での取組（他機関との連携等）状況を教えてほしい。</p> <p style="margin-left: 20px;">【生活安全課長】 警察では、人身の安全を早急に確保する必要がある事案として児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、ストーカ</p>	

一事案、配偶者からの暴力事案、行方不明事案等を定めている。
これら事案については、あらゆる警察活動を通じて端緒情報の収集や関係機関との情報共有に努め、被害者やその家族等の安全確保を最優先に対応している。

8月末現在、当署管内におけるこれら事案の受理件数は101件で、前年同期と比べ17件減少しているが、被害者等には継続的な支援が必要なため、他機関との連携は必要不可欠である。

事案によって連携する機関は異なり、児童虐待であれば主に児童相談所、ストーカ一事案や配偶者からの暴力事案は女性相談所、高齢者虐待、障害者虐待は桑名市、木曾岬町と連携している。

警察は、あらゆる法令を駆使して加害者を検挙するなど、関係機関と連携しながら、被害者等の安全確保に取り組んでいる。

(3) 深夜等の青少年の状況について

<委員> 最近は様々な状況から24時間営業をやめているコンビニもある。

夜に青少年が行ける場所は他にもあると思うが、管内の深夜等における青少年の状況で気になることがあれば、教えてほしい。

【署長】 8月末現在、当署管内における非行少年は17人（前年同期比＋7人）で、飲酒、深夜はいかい、喫煙などで補導された不良行為少年は123人（前年同期比＋43人）といずれも増加している。

補導場所として多いのは、コンビニ、公園・神社等であり、24時間営業のコンビニで補導される少年も少なくない。

先程、説明した補導場所のほか、管内のスーパー等10か所をいわゆる少年のたまり場として把握しており、深夜だけでなく、下校時間帯等を中心にパトロールによる少年補導活動を実施している。

(4) 自転車に対する交通指導等について

<委員> 学生の自転車の乗り方等について気になることがあれば教えて欲しい。

例えば、高校生の2人乗りは減っていると感じるが、イヤフォンをしたままやスマートフォンを触りながら自転車を運転する子供を見かける。

これらの行為は危険であり、自転車と言えども命に関わる事故につながるおそれがある。

【署長】 昔と比べて二人乗りの自転車は減少している一方、無灯火の違反は未だに多い。

自転車乗車中の携帯電話の使用や画面の注視、イヤフォン使用などの違反も増加傾向にある。

本年は津署管内において中学生が運転する自転車が、横断中に左折するトラックに巻き込まれて死亡する事故や学生でないものの車道で後続車両に追突され、死亡する事故も発生している。

また、歩行者との接触事故では加害者となった例もある。

自転車は、オートバイや自動車と違い、免許がなくても運転できることから、学校等と連携した交通安全教育や街頭指導を行っているほか、悪質な違反は検挙することで、事故防

止を図っている。

警察では、自転車の交通安全教育として管内にある中学校を対象に「自転車安全教育モデル校」として指定しており、学校の自主的な教育を促すことで、子供の頃から交通ルールを守るという意識を持たせ、大人になってからの法令遵守につなげたいと考えている。

<委員> 自転車の違反は主婦層と高齢者に多いと感じる。
まず、道路交通法が変わったことを主婦層と高齢者は知らないこともある。

主婦層と高齢者に対する教育をどのように考えているか。

【交通第一課長】 当署管内では、自転車に対する指導と啓発を行うための重点地区や路線を指定しており、重点的に街頭指導、チラシ配布等による啓発をしている。

(5) 防犯カメラ画像について

<委員> 防犯カメラについて聞きたい。
私達では不審者がいても防犯カメラが設置してある店舗等で撮影した画像を見せてもらえない。

警察で確認してもらいたい時はどうしたらよいか。

【生活安全課長】 一般の方が防犯カメラの設置者に録画映像を見せてほしいと依頼してもプライバシーに関係する映像が映っているものが多いため見せてもらえないと思われる。

不審者の状況や防犯カメラの設置箇所の情報を教えてもらえば、警察で確認するなどして対応する。

【署長】 防犯カメラは市、自治会、一般の方の管理するものなど、様々である。

最近も防犯カメラ映像が強盗未遂事件の解決につながった例がある。

不審者の状況にもよるが、とりあえず相談してもらえば対応する。

7 公安委員会委員長講評

8 警察署長挨拶

備 考	報道機関 2 社 2 名
-----	--------------